

佐渡市小学校教育研究会社会科部の取組

1 社会科地域巡検（8月19日実施）



今年度は、河崎・両尾地区で見学、体験する地域巡検を行った。主な内容は、次のとおりである。①揚げ浜式塩田による塩作り体験 ②羽入生地区にある浦目付所跡見学 ③大川地区の船つなぎ石（北前船などをつなぐ岩）など北前船時代の名残の遺産見学 ④メルティングセンター（焼却灰を固形化する施設）見学 ⑤姫埼灯台見学（海上保安庁の方に灯台を開放していただいた）

参加者は、両尾地区が北前船の寄航するような港で栄えたことや塩作りの苦労を実感することができた。

2 授業研究会（9月14日実施）

両尾小学校5・6年複式学級担任の登坂亮太教諭が、「武士の世の中～花開く文化」の単元で研究授業を公開した。江戸時代の交通の進展の様子を佐渡の小木港に着目させ、日本全国の港とつながっていたことを地図帳からとらえさせた。また、より身近な学区の港（大川港）にも北前船が寄航していた事実を、当時の「宿帳」を提示することで知らせ子どもたちの興味や関心を高めていた。授業のねらいに迫る手立てや地域教材を開発する際の課題について、全会員で学ぶことができた。



（文責 河崎小学校 猪股快門）